

はじめに

私たちは、学校での教育をはじめ、家庭や地域、職場など、日常生活のいろいろなところで、生きがいや楽しみを見い出したり、新しい知識・技術を身につけるなど、いわゆる「生涯学習」を行っています。生涯学習は、一言でいえば、私たちが人間として真に心の豊かさと生きがいのある人生を目指し、自分なりの方法で生涯にわたって学ぶことであり、いきいきとした家庭や活力ある職場、地域につながっていくものです。

これまで、我が国では学習といえば学校教育が中心でしたが、社会が発展し世界が広がるのに伴って生涯学習の役割がますます高まり、私たちにあって欠かせないものとなってきています。

こうした時代を迎え、私たちは自ら置かれているそれぞれの立場を自覚しながら、生涯学習についての認識を新たにし、生涯を通じて主体的に学んでいくことが特に大切になってきました。

また、生涯学習を進めるに当たっては、主体的に学ぶ私たち府民、生涯学習の機会や施設を提供する学校などの教育機関、各種民間団体、企業、その調整・支援者となる京都府、市町村等が、将来のあるべき姿を描き、相互に協力していくことが大切です。

京都府では、将来の生涯学習のあり方を明らかにするため、平成3年3月に京都府生涯学習審議会を設置し、京都府の生涯学習振興のための基本構想について検討し、平成4年8月にその中間報告を公表しました。その後、シンポジウムや生涯学習フォーラム、市町村、関係団体等との懇談会などを通じ、広く府民や関係者の意見を聴き、この構想をまとめました。

この構想は、21世紀に向けて、府民、京都府、市町村、教育機関、民間団体、企業等が、それぞれの立場や役割を認識しながら生涯学習を通じて互いに協力し、創造的な社会を形成していく上での指針となるものです。